

Cue the music.

BOSE

QUIETCOMFORT ULTRA HEADPHONES

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。



Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他のすべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance



この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他のすべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他のすべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布か水で湿らせた布で行ってください。洗剤などは使用しないでください。

修理が必要な際には、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意

- ・ヘッドホンの回転、折りたたみ、ケースへの収納、ケースからの取り出しの際は、左右のイヤークップの真ん中あたりに手を置いてください。指を挟まないように、ヒンジに指を近づけないようにしてください。
- ・本製品はお子様のご使用を想定していません。
- ・耳への負担を避けるため、ヘッドホンを大音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- ・車両の運転中に本製品を使用することは推奨されません。一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。運転中のヘッドホンの使用については十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。ヘッドホンの使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- ・ヘッドホンから異常な音が聞こえる場合は、ヘッドホンを使用しないでください。そのような場合は、ヘッドホンの電源をオフして**Bose**カスタマーサービスにご連絡ください。
- ・製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・ 火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ 電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていることを確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・本機と受信機の距離を離す。
- ・受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

この製品はIMDAの要件に適合しています。

FCC ID: A94440108 | IC: 3232A-440108

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未滿



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則: 会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



R-R-Bos-440108
보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	○	○	○	○	○
金属/パーツ	X	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	X	○	○	○	○	○
ケーブル	X	○	○	○	○	○
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						



機器名: ヘッドホン 型式: 440108						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属/パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1: 「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「3」は2013年または2023年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands | Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P.11000 電話番号: +5255 (5202) 3545 | Bose Limited (H.K.), 9F, No. 10, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist.Taipei City 10480, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格: 5V ≒ 0.5A | **充電時の温度範囲:** 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) | **電池/バッテリー使用時の温度範囲:** -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)

CMII ID はイヤークップ内側のスクリーンの下に記載されています。

本製品には **Boseの利用条件** が適用されます: worldwide.bose.com/termsfuse

ライセンス開示情報: Bose QuietComfort Ultra Headphones のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Bose** アプリを使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Apple のロゴ、iPad、iPhone、および macOS は Apple Inc. の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本国内で使用されています。

Made for Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載されている Apple 製品への接続専用に設計され、Apple 社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple 社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、および Google Play は Google LLC の商標です。

Microsoft Teams は Microsoft グループの商標です。

Snapdragon Sound は Qualcomm Technologies, Inc. とその子会社の製品です。Qualcomm、Snapdragon、および Snapdragon Sound は Qualcomm Incorporated の商標または登録商標です。

この製品には Spotify ソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます: www.spotify.com/connect/third-party-licenses

Spotify は Spotify AB の登録商標です。

USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。

Bose、B のロゴ、QuietComfort、および SimpleSync は、Bose Corporation の商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2024 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、イヤークップ内側のスクリーンの下に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: 440108

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	11
-----------	----

BOSE アプリ

Bose アプリをダウンロードする	12
-------------------------	----

ヘッドホンの操作

電源オン	14
電源オフ	15
自動オフ機能	15
メディアの再生と音量調節	16
通話	17
モード	18
イマーシブオーディオ設定	18
モバイル機器の音声コントロール	18

ショートカット

ショートカットを有効にする	19
ショートカットを使用する	19
ショートカットを変更する、無効にする	19

装着検出

自動再生/一時停止	20
着信自動応答	20

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリング機能の設定変更	21
通話中のノイズキャンセリング機能について	21
ノイズキャンセリング機能のみを使用する	21

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定.....	22
イマーシブオーディオ機能の設定変更	23
モードを変更する	23
ショートカットを使用する	23
通話中のイマーシブオーディオ機能について	24

リスニングモード

モード	25
ActiveSense アウェアモード	25
モードを変更する	26
ヘッドホンのモードを追加する、削除する	26

BLUETOOTH® 接続

Bose アプリを使用して接続する	27
モバイル機器の <i>Bluetooth</i> メニューを使用して接続する	27
モバイル機器の接続を解除する	28
モバイル機器を再接続する	28
別のモバイル機器を接続する	29
接続されている2台のモバイル機器を切り替える	29
前に接続していたモバイル機器を再接続する	30
ヘッドホンのデバイスリストを消去する	30
Android™ デバイスのみ	31
Fast Pair 機能を使用して接続する	31
Snapdragon Sound™ テクノロジー	32

ケーブル接続

オーディオケーブルを接続する	33
USB ケーブルを接続する	34

バッテリー

ヘッドホンを充電する	35
充電時間	36
バッテリー残量の確認	36

ヘッドホンの状態

<i>Bluetooth</i> 接続の状態	37
バッテリーの状態	38
電源と充電の状態	38
アップデートとエラーの状態	38

BOSE 製品への接続

Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar に接続する	39
特長	39
対応製品	39
Bose アプリを使用して接続する	40
製品を操作して接続する	41
Bose Smart Speaker または Soundbar に再接続する	41

補足事項

ヘッドホンを収納する	42
ヘッドホンをアップデートする	44
ヘッドホンのお手入れ	44
交換部品とアクセサリ	44
保証	44
シリアル番号	45

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと.....	47
その他の対処方法.....	47
ヘッドホンをリセットする.....	55
ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す	56

内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



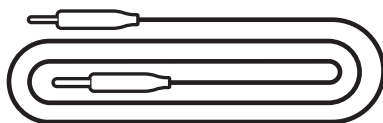
Bose QuietComfort Ultra Headphones



キャリーケース



USB Type-A - USB Type-C® ケーブル



3.5 mm - 2.5 mm オーディオケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/QCUをご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からヘッドホンのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、*Bluetooth* 接続の管理、ヘッドホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 他の Bose 製品用に Bose アプリを既にダウンロードしている場合は、メイン画面からヘッドホンを追加できます。

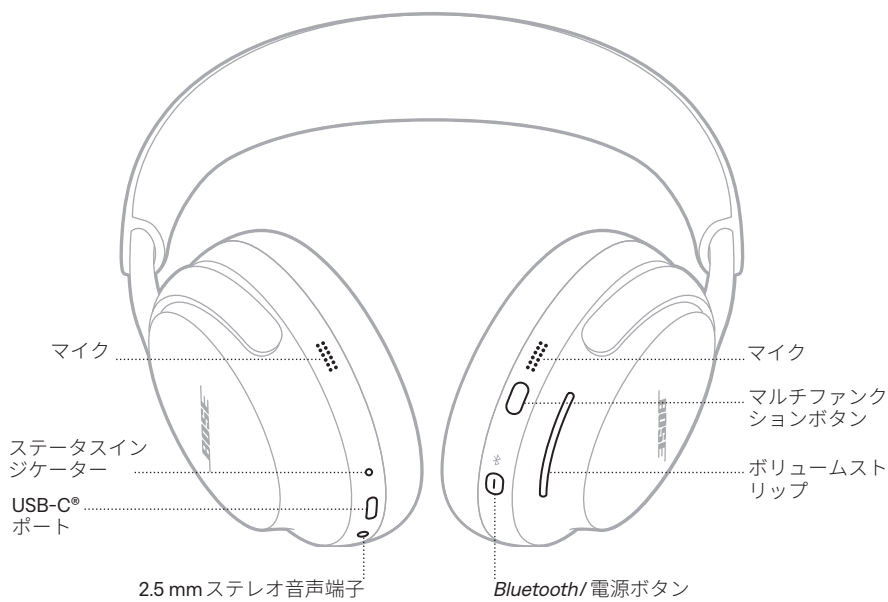
BOSE アプリをダウンロードする

1. モバイル機器で Bose アプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。

ヘッドホンの操作部は右イヤークップの後ろ側にあります。



電源オン

Bluetooth/ 電源ボタンを押します。



数秒後、起動音が聞こえ、バッテリーの残量を知らせる音声ガイドが流れます。ステータスインジケーターが現在の充電状態に応じて点灯します(38ページを参照)。

注:

- ヘッドホンの電源をオンにし、起動音が聞こえると、最高の音響性能を実現するように、耳に合わせてオーディオが調整されます。
- ビープ音や音声ガイドが再生されるには、ヘッドホンを頭に装着する必要があります。

電源オフ

ビーブ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅するまで、**Bluetooth/電源ボタン**を長押しします。



注: ヘッドホンの電源をオフにすると、ノイズキャンセリング機能もオフになります。

自動オフ機能

ヘッドホンを頭から外して5分間使用しないと、バッテリーを節約するためスリープ状態になります。ヘッドホンをスタンバイ状態から復帰するには、**Bluetooth/電源ボタン**を押すか、ヘッドホンを頭に装着します。

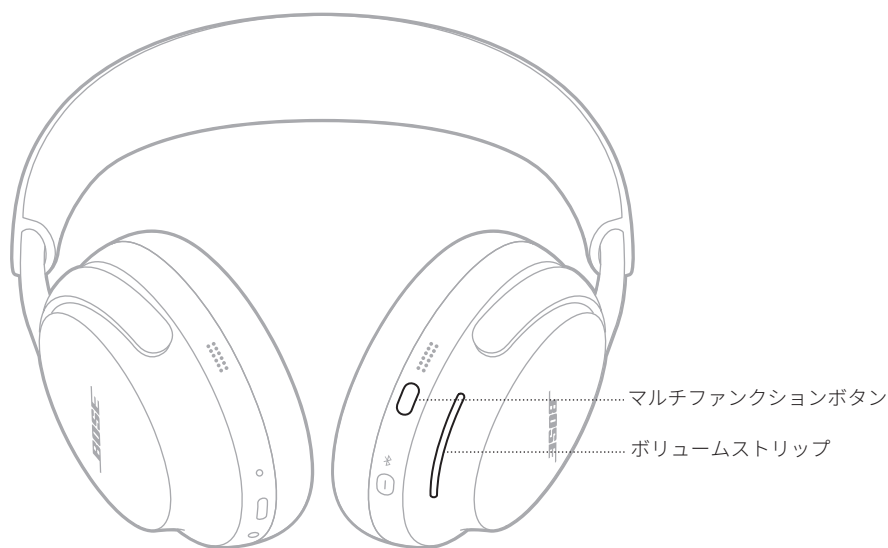
ヘッドホンを使用しないで24時間経過すると、電源がオフになります。ヘッドホンの電源をオンにするには、**Bluetooth/電源ボタン**を押します。

注: 自動オフ機能の設定を変更するには、**Boseアプリ**を使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

メディアの再生と音量調節

マルチファンクションボタンでメディアの再生をコントロールします。

ボリュームストリップで音量を調節します。



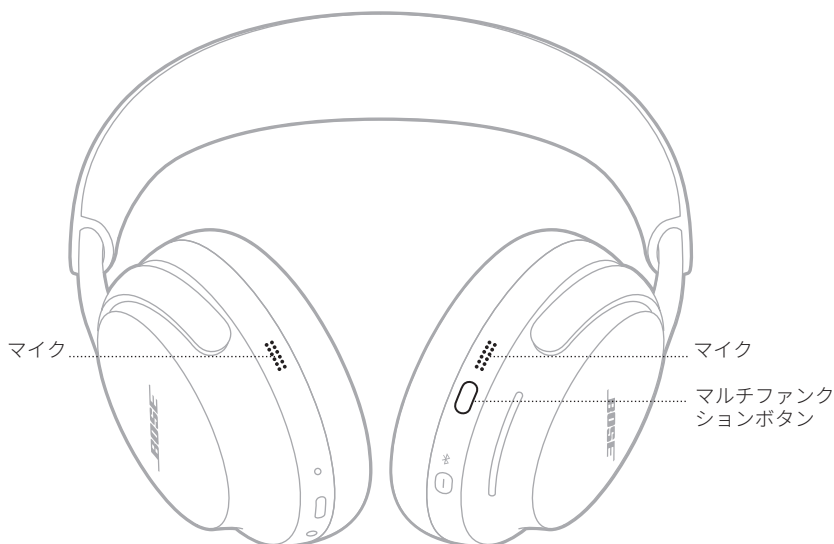
機能	操作方法
再生/一時停止	マルチファンクションボタンを押します。
トラック送り	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	マルチファンクションボタンを続けて3回押します。
音量を上げる	ボリュームストリップを上にはスワイプします。
音量を下げる	ボリュームストリップを下にはスワイプします。

注: 音量をすばやく調節するには、ボリュームストリップを長くスワイプします。

通話

マルチファンクションボタンで、通話機能をコントロールします。

ヘッドホンには、通話用のマイクが4つ(左イヤークップに2つ、右イヤークップに2つ)あります。



機能	操作方法
着信に応答する	マルチファンクションボタンを押します。
着信に応答せず切る	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
通話中の相手を保留にして割込み着信に応答する	通話中に割込み着信があったら、マルチファンクションボタンを押します。
割込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	通話中に割込み着信があったら、マルチファンクションボタンを続けて2回押します。

モード

マルチファンクションボタンでモードを変更し、ノイズキャンセリング機能の設定をすばやく簡単に切り替えることができます。

モードの変更方法は、25ページをご覧ください。

イマーシブオーディオ設定

イマーシブオーディオ設定の変更については、23ページをご覧ください。

モバイル機器の音声コントロール

ショートカットを設定することで、ヘッドホンを使ってモバイル機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。ヘッドホンに内蔵されているマイクがモバイル機器の外部マイクとして機能します。

ショートカットについては、19ページをご覧ください。

注: 通話中は音声コントロール機能を使用できません。

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- ・ イマーシブオーディオ設定を順に切り替える (22 ページを参照)
- ・ Spotify にアクセスする
- ・ モバイル機器の音声コントロール機能を使用する (18 ページを参照)
- ・ バッテリー残量を確認する (36 ページを参照)

ショートカットを有効にする

ショートカットを有効にするには、Bose アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「ショートカット」をタップします。

ショートカットを使用する

ボリュームストリップを長押しします。



ショートカットを変更する、無効にする

ショートカットを変更または無効にするには、Bose アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「ショートカット」をタップします。

装着検出では、センサーを使用して、ヘッドホンを装着していることを識別します。音楽の再生/一時停止の切り替えや着信への応答を自動で行うことができます。

注: 装着検出機能を管理するには、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動再生/一時停止

右イヤークップを耳から離すか、ヘッドホンを外すと、音楽の再生が一時停止します。

再生を再開するには、右イヤークップを耳に当てるか、ヘッドホンを装着します。

着信自動応答

ヘッドホンを装着して電話に出ることができます。

ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。

デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。ノイズキャンセリングレベルは最大になります(25ページを参照)。

ノイズキャンセリング機能の設定変更

モードの変更により、プリセットされたノイズキャンセリング機能の設定を切り替えることができます。モードについては、25ページをご覧ください。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話をかけたり受けたりするときは、ヘッドホンのノイズキャンセリングレベルはそのときの設定が継続され、セルフボイスがONになります。セルフボイスにより、自分の声が聞こえることでより自然に話すことができます。

通話中にノイズキャンセリング機能を調整するには、モードを変更します(26ページを参照)。

注: セルフボイスを調整するには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ モバイル機器の接続を解除します(28ページを参照)。
 - ・ モバイル機器のBluetooth機能をオフにします。
2. マルチファンクションボタンを長押しして、モードを変更します(26ページを参照)。

注: モバイル機器を再接続するには、機器のBluetoothリストからヘッドホンを選択します。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでヘッドホンの外から音が聞こえてくるように感じるので、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストーリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます (24 ページを参照)。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーシオンモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - このオプションにアクセスするには、Bose アプリを使用します。メイン画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはヘッドホンから再生されているように聞こえます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、ショートカットを使用してイマーシブオーディオ設定を順に切り替えることで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

ヒント: Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。

モードを変更する

モードの変更方法は、26 ページをご覧ください。

注:

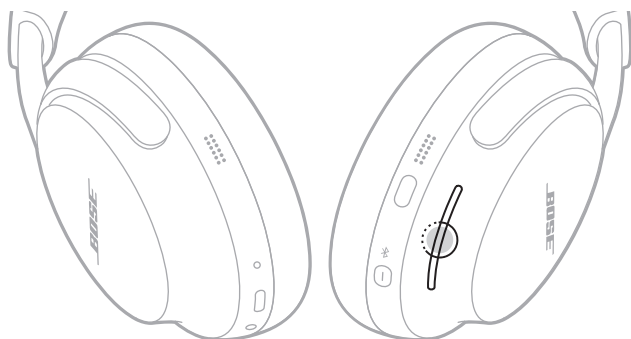
- モードを変更すると、イマーシブオーディオとノイズキャンセリングの設定が両方とも変更されます。
- また、好みのイマーシブオーディオ設定やノイズキャンセリング設定を含むカスタムモードを作成することもできます(25 ページを参照)。

ショートカットを使用する

ショートカットを使用して、現在のモードのノイズキャンセリング設定に影響を与えることなく、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えることができます。この方法では、ヘッドホンの電源をオフにするか、モードを変更するまで、現在のモードが一時的にカスタマイズされます。

注: ヘッドホンを使ってイマーシブオーディオ設定を切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(19 ページを参照)。

1. ボリュームストリップを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、ボリュームストリップから指を放します。

通話中のイマーシブオーディオ機能について

電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、ヘッドホンは直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオの設定で構成されています。

あらかじめ設定された3つのモード（クワイエット、アウェア、イマーション）から選択できるほか、最大7つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
クワイエット	最大のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。
アウェア	最小のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。ステレオ音楽を楽しみながら、周囲の音を聞くことができます。
イマーション	イマーシブオーディオが「移動」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。不快なノイズを遮断し、臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、ノイズコントロール機能(ノイズキャンセリングまたはウィンドブロック)とイマーシブオーディオ設定をカスタマイズできます。 注: Bose アプリを使用して、最大7つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

注:

- デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。電源をオンにしたときにヘッドホンが最後に使用したモードになるように設定するには、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- ノイズキャンセリング機能とイマーシブオーディオ機能の設定については、21ページおよび22ページをご覧ください。

ActiveSense アウェアモード

ActiveSense テクノロジーを採用したアウェアモードのダイナミックなノイズキャンセリング機能により、不要なノイズを抑えながら周囲の音を聞くことができます。

ActiveSense アウェアモードでは、突然の音や大きな音が近くで発生したときに、ヘッドホンで自動的にノイズキャンセリング機能が強まり、ノイズにリスニングを妨げられることなく、周囲に注意を向けることができます。ノイズが止まると、ノイズキャンセリング機能は自動的に前の設定に戻ります。

ActiveSense を有効にするには、**Bose** アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「**モード**」をタップして、「**アウェア**」> **...** をタップします。

モードを変更する

注: ヘッドホンのモードにアクセスするには、**Bose** アプリでお気に入りとして設定する必要があります。お気に入りのモードを設定するには、メイン画面の「モード」をタップします。

1. モードを順に切り替えるに、マルチファンクションボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

2. 希望するモードの名称が聞こえたら、マルチファンクションボタンから指を放します。

ヒント: Bose アプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

ヘッドホンのモードを追加する、削除する

ヘッドホンのモードにアクセスするには、**Bose** アプリでお気に入りとして設定する必要があります。デフォルトでは、クワイエット、アウェア、イマーシジョンの3つのモードがお気に入りとして設定されています。

ヘッドホンのモードを追加または削除するには、メイン画面の「モード」をタップし、お気に入りとして設定するモードを指定します。

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または *Fast Pair* 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、ヘッドホンをモバイル機器に接続できます。

ヘッドホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

- 最も良い方法は、**Bose アプリ** を使用してモバイル機器を設定し、接続することです (12 ページを参照)。
- *Fast Pair* を使用した接続については、31 ページをご覧ください。

BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してヘッドホンを接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、12 ページをご覧ください。

モバイル機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、*Bluetooth* / 電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で 2 回点滅します。「接続準備完了」という音声聞こえ、ステータスインジケーターが青く点滅するまで長押しします。



注: 既に機器が接続されている場合は、「別のデバイスの接続準備が完了しました」と聞こえます。

- お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

- デバイスリストから本製品を選択します。

注: Bose アプリでヘッドホンに付けた名前を探してください。ヘッドホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ステータスインジケーターが10秒間青く点灯します。

注: 既に機器が接続されている場合は、「<機器名>に接続済みです」という音声ガイドが聞こえ、ステータスインジケーターが10秒間青く点灯します。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Bose アプリを使用します。

ヒント: モバイル機器の *Bluetooth* 設定を使って接続を解除することもできます。*Bluetooth* 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

本製品は電源をオンにすると、直近に接続していた2台の機器に再接続します。

注:

- モバイル機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- マルチポイント接続機能が無効の場合、ヘッドホンは最後に接続していたモバイル機器に再接続します。

別のモバイル機器を接続する

デフォルトでは、ヘッドホンは同時に2台までの機器に接続できます(マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、**Bose アプリ**(12 ページを参照)、**モバイル機器の Bluetooth メニュー**(27 ページを参照)、または**Fast Pair 機能**(Android デバイスのみ)(31 ページを参照)を使用します。

注:

- ・ ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- ・ マルチポイント接続機能の管理または無効化には、**Bose アプリ**を使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- ・ マルチポイント接続機能が無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

接続されている2台のモバイル機器を切り替える

1. 1台目のモバイル機器の再生を一時停止します。
2. 2台目のモバイル機器で音楽を再生します。

ヘッドホンがそのモバイル機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

注: 電話がかかってきたら、どちらのモバイル機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。

前に接続していたモバイル機器を再接続する

1. **Bluetooth**/電源ボタンを押すと、最初に接続した機器の名前が聞こえます。
2. 2秒以内にもう一度**Bluetooth**/電源ボタンを押すと、ヘッドホンのデバイスリストにある次の機器の名前が聞こえます。
3. 使用する機器の名前が聞こえるまで、手順を繰り返します。
機器が接続されると起動音が聞こえます。

ヒント: Bose アプリを使用して、以前に接続していた機器を再接続することもできます(12ページを参照)。

注: 既に2台の機器がヘッドホンに接続されている場合、新しい機器が以前に接続されていた2台目の機器に代わって接続されます。

ヘッドホンのデバイスリストを消去する

1. 「**Bluetooth** デバイスリストを消去しました。接続準備完了」という音声ガイドが聞こえるまで、**Bluetooth**/電源ボタンとマルチファンクションボタンを同時に長押しします。



2. モバイル機器の**Bluetooth** リストからお使いのヘッドホンを削除します。
すべての機器が消去され、ヘッドホンが新しい機器と接続可能な状態になります。

ANDROID デバイスのみ

Android モバイル機器を使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

Fast Pair 機能を使用して接続する

タップするだけで、ヘッドホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6.0 以降を実行している Android デバイスが必要です。
 - Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。
1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、*Bluetooth*/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。「接続準備完了」という音声が聞こえ、ステータスインジケーターが青く点滅するまで長押しします。



2. ヘッドホンを Android デバイスの横に置きます。

ヘッドホンのペアリングを促す通知がデバイスに表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、ヘッドホンの設定を完了することもできます。

Snapdragon Soundテクノロジー

Bose QuietComfort Ultra Headphones は、Snapdragon Sound テクノロジーを採用しています。Snapdragon Sound は、接続された機器全体で Qualcomm® のオーディオ技術を最適化し、ストリーミングオーディオの音質、接続の安定性、遅延を最適な状態にします。

Snapdragon Sound を体験するには、対応する Android モバイル機器など、Snapdragon Sound 認定デバイスが必要です。ヘッドホンに接続すると、デバイスは自動的に aptX Adaptive Bluetooth コーデックを使用してオーディオをストリーミングします。

注: ヘッドホンでサポートされる Snapdragon Sound 機能を確認し、デバイスが対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/QCU

オーディオケーブルを接続する

Bluetooth 接続ができない場合、2.5mm - 3.5mm ステレオ音声ケーブルを使用して、ソース機器の音楽を聴くことができます。

注:

- ・ 音声ケーブルを使用するには、ヘッドホンの電源がオンになっている必要があります。バッテリーが切れている場合は、*USB* ケーブルを使用して外部電源に接続し、ヘッドホンの電源をオンにしてください(34 ページを参照)。
- ・ 通話やメディアの再生コントロールは無効になるため、ソース機器で操作する必要があります。
- ・ *Bluetooth* 接続とイヤークップのマイクの音声ピックアップ機能は無効になります。
- ・ ヘッドホンを最大限に活用するには、*Bluetooth* 接続をおすすめします。

1. ケーブルを左イヤークップの 2.5 mm 端子に接続します。



2. ケーブルの反対側をソース機器の 3.5 mm 端子に接続します。

USBケーブルを接続する

ヘッドホンのバッテリーが切れている場合は、USBケーブルを使用して外部電源に接続し、ヘッドホンを使用できます。

注:

- ・ヘッドホンの電源がオンになっている場合、外部電源に接続すると電源がオフになり、充電が始まります。ヘッドホンの使用を続けるには、もう一度電源をオンにしてください(14ページを参照)。
- ・ヘッドホンの電源がオンになっている間は充電されません。
- ・ヘッドホンはUSBオーディオに対応していません。外部電源として接続された機器から音楽を再生するには、機器のBluetoothメニュー(27ページを参照)または音声ケーブル(33ページを参照)を使用して接続します。
- ・ヘッドホンのバッテリーが切れ、Bluetooth接続ができない状態でソース機器の音楽を聴き続けるには、USBケーブルとステレオ音声ケーブルの両方を接続します(33ページを参照)。

1. USBケーブルの小さい方のプラグを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。



2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-A電源に接続します。

ヘッドホンの電源がオンになっている場合は、電源がオフになって充電が始まります。

3. ヘッドホンの電源をオンにします(14ページを参照)。

ヘッドホンを充電する

1. USBケーブルの小さい方のプラグを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。
2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-A電源に接続します。



ヘッドホンの充電が始まると、ステータスインジケーターがオレンジ色に点灯します。ヘッドホンの充電が完了すると、ステータスインジケーターが白に点灯します。

充電時間

ヘッドホンを完全に充電するには最長3時間かかります¹。完全に充電した場合、イマーシブオーディオをオフに設定した状態でヘッドホンを最大24時間(イマーシブオーディオをオンに設定した状態では最大18時間)使用できます²。

ヘッドホンのバッテリー残量が少なくなった場合、15分間充電すると、イマーシブオーディオをオフに設定した状態でヘッドホンを最大2.5時間(イマーシブオーディオをオンに設定した状態では最大2時間)使用できます³。

バッテリー残量の確認

ヘッドホンの電源をオンにするたびに、バッテリー残量を知らせる音声ガイドが流れます。ヘッドホンのバッテリー残量が低下すると、「バッテリー ロウ」と聞こえます。

注: バッテリー残量を目で確認するには、左イヤークップにあるステータスインジケターをご覧ください。詳しくは、38ページをご覧ください。

ヒント: ショートカットを使って、バッテリー残量を音声で確認することもできます。バッテリー残量は、Boseアプリを使用してショートカットとして設定する必要があります(19ページを参照)。

1 Bose QuietComfort Ultra Headphonesの製品サンプルを使用し、2023年6月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)でヘッドホンを15分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量を再生ラウドネス75dB SPL、3バンドEQをゼロに設定して、イマーシブオーディオをオフにしたクワイエットモード(フルノイズキャンセリング)でオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2.5時間でした。イマーシブオーディオをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2時間でした。ヘッドホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)ヘッドホンを100%充電することで求めました。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

2 Bose QuietComfort Ultra Headphonesの製品サンプルと、A2DP Bluetooth オーディオストリーミングによる各種音楽トラックを使用して、2023年6月にBoseが実施したテスト結果。音量を再生ラウドネス75dB SPLに、3バンドEQをゼロに設定し、クワイエットモード(フルノイズキャンセリング)に設定。イマーシブオーディオをオフにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大24時間でした。イマーシブオーディオをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大18時間でした。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

3 1.を参照。

ステータスインジケータは左イヤークップにあります。

ヘッドホンを頭に装着したときや外したときには、ヘッドホンの状態に応じてステータスインジケータが5秒間点灯します。

注:

- ヘッドホンを頭に装着している間は、**Bluetooth**/電源ボタンを押すまでステータスインジケータは消灯したままです。
- ヘッドホンを頭に装着していない場合、ヘッドホンの操作をするか、ヘッドホン動かすまで、ステータスインジケータは消灯したままです。



BLUETOOTH接続の状態

Bluetooth 接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の点滅	接続準備完了
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリストを消去しました

バッテリーの状態

バッテリーの状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
白の点灯	満充電
オレンジの点灯	使用可能な残量

ヒント: Bose アプリを使用してバッテリー残量を確認することも、ショートカットを使用してバッテリー残量を音声で確認することもできます。バッテリー残量は、Bose アプリを使用してショートカットとして設定する必要があります (19 ページを参照)。

電源と充電の状態

電源と充電の状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
白の2回点滅	電源オフ
オレンジの点灯	充電中
白の点灯	満充電

アップデートとエラーの状態

アップデートとエラーの状態を示します。

インジケーターの状態	システムの状態
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中(無線経由)
白の速い点滅(10 秒間)	ソフトウェアアップデート中(USB 経由)
白の点滅(3 秒間)	リセット
白の点滅(30 秒間)、その後オレンジの点滅(2、3 秒間)	出荷時設定に戻す
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

BOSE SMART SPEAKER または BOSE SMART SOUNDBAR に接続する

SimpleSync テクノロジーにより、Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker にヘッドホンを接続して、自分だけのリスニングを楽しむことができます。

特長

- ・製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、Bose Smart Soundbar の音量を下げたりミュートしたりできます。
- ・ヘッドホンを Bose Smart Speaker に接続して、隣の部屋で音楽をクリアな音で楽しむことができます。

注: SimpleSync テクノロジーは、最大 9 m の *Bluetooth* 通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

ヘッドホンと Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar を接続して、音楽を同時に再生することができます。

対応製品の例:

- ・ Bose Smart Soundbar 900
- ・ Bose Smart Soundbar 700/Bose Soundbar 700
- ・ Bose Smart Soundbar 600
- ・ Bose Soundbar 500
- ・ Bose Smart Speaker 500/Bose Home Speaker 500
- ・ Bose Home Speaker 300
- ・ Bose Portable Smart Speaker/Bose Portable Home Speaker

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。 support.bose.com/Groups

Bose アプリを使用して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、**Bluetooth**/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。「別のデバイスの接続準備が完了しました」という音声が入聞こえ、ステータスインジケーターが青く点滅するまで長押しします。



2. Bose アプリを使用して、ヘッドホンに対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/Groups

注:

- 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ヘッドホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。
- ヘッドホンに一度に接続できる製品は1台だけです。

製品を操作して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、**Bluetooth**/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。「別のデバイスの接続準備が完了しました」という音声聞こえ、ステータスインジケーターが青く点滅するまで長押しします。



2. サウンドバーのリモコンまたはスピーカー上部の**Bluetooth**ボタンをライトバーまたはライトリングが青く点灯するまで長押しします。

ヘッドホンがサウンドバーまたはスピーカーに接続され、両方の機器で同じ音楽を聴くことができます。

注:

- ・ 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ・ ヘッドホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。

BOSE SMART SPEAKER または SOUNDBAR に再接続する

Bose アプリを使用して、以前に接続していた Bose 製品にヘッドホンを再接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups

注:

- ・ サウンドバーやスピーカーが通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- ・ ヘッドホンを再接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker とヘッドホンを再接続できない」(54 ページ)をご覧ください。

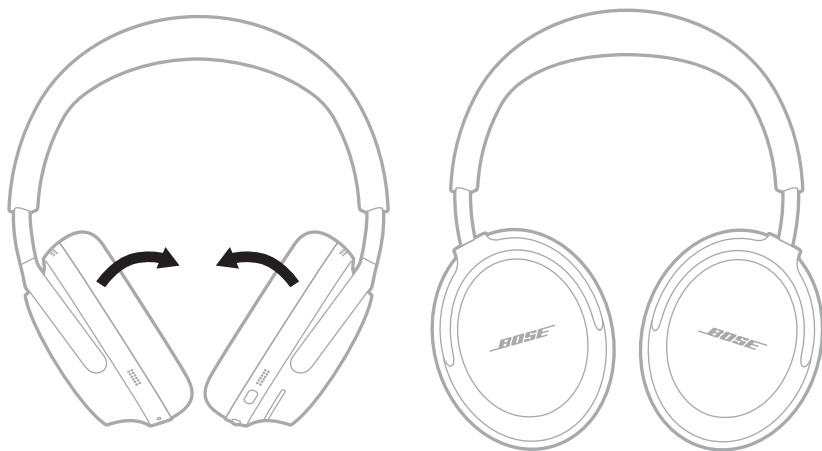
ヘッドホンを収納する

持ち運びに便利のようにイヤークップを回転して収納することができます。
ヘッドホンをケースに収納します。

1. 両手で左右のイヤークップを持ちます。



2. 両方のイヤークップを平らになるように回します。



3. イヤーカップをヘッドバンドの方にスライドさせます。



4. 左イヤーカップをヘッドバンド側に折りたたみ、ヘッドホンケースに収納します。



注: 本製品を数か月以上使用しない場合は、バッテリーを完全に充電してから保管してください。

ヘッドホンをアップデートする

ヘッドホンは、Bose アプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

Bose Updater Web サイトを利用して、ヘッドホンをアップデートすることもできます。パソコンで btu.Bose.com にアクセスして、画面の手順に従ってください。

ヘッドホンのお手入れ

ヘッドホンは定期的にお手入れすることをおすすめします。ヘッドバンドやその他の外面をお手入れする必要がある場合は、少し湿らせた布でやさしく拭いてください。

- お手入れは水で湿らせた布で行ってください。洗剤などは使用しないでください。端子やイヤークップからヘッドホンに水分が入らないように注意してください。
- 端子に汚れやゴミを押し込まないでください。端子やイヤークップの内部に空気を吹き込んだり、掃除機をかけたりしないでください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose 製品取扱店、弊社 Web サイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/QCU

保証

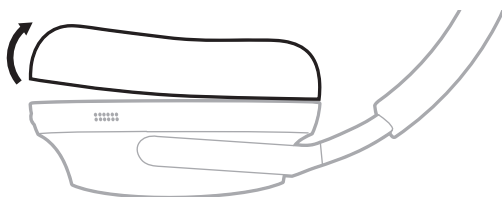
製品保証の詳細は worldwide.Bose.com/Warranty をご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

シリアル番号

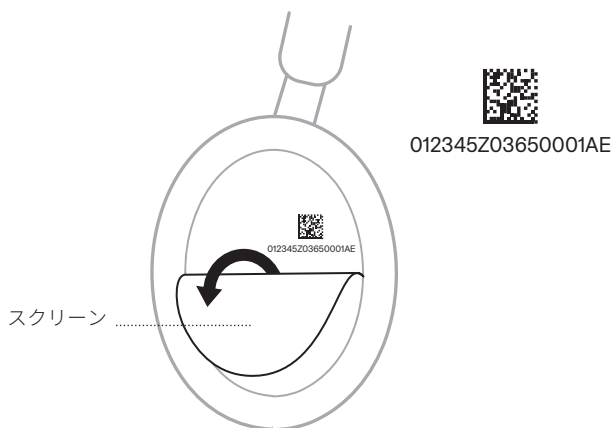
シリアル番号は左イヤークップ内側のスクリーンの下に記載されています。スクリーンは、イヤークップ内部の部品を保護するために、イヤークップの内側に貼られています。

1. 左イヤークップのクッションの端をつまみ、イヤークップからそっと引き離して、イヤークップ内側の縁にある6つの突起をすべて外します。

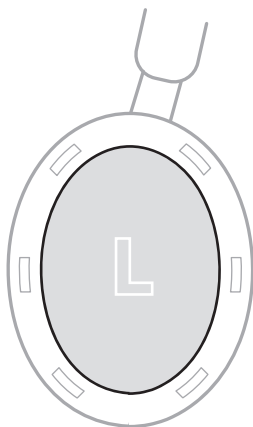


2. スクリーンの上端をつまみ、そっと剥がしてシリアル番号を確認します。

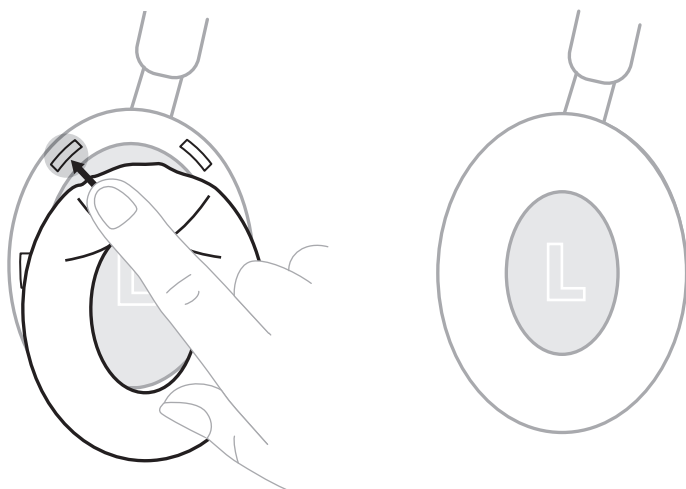
注意： ヘッドホンが破損する恐れがありますので、スクリーンを押し込んだり、イヤークップ内部のほかの部品を外したりしないでください。



3. スクリーンを元の位置に固定します。



4. クッション取り付けフランジの6つの突起をイヤークップの6つの溝に合わせ、6つすべての突起が溝にパチッとハマるまでクッションを押します。クッションが正しく固定されると、パチッという音が聞こえ、感触がします。



注意: 適切な音響性能を確保するには、6つの突起がすべてクッションに固定されている必要があります。

最初にお試しいただくこと

ヘッドホンに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ・ ヘッドホンを充電します(35ページを参照)。
- ・ ヘッドホンの電源をオンにします(14ページを参照)。
- ・ ヘッドホンのステータスインジケーターを確認します(37ページを参照)。
- ・ お使いのモバイル機器がBluetooth接続に対応していることを確認します(27ページを参照)。
- ・ モバイル機器を干渉源や障害物から離して、ヘッドホンに近づけます(9 m以内)。
- ・ ヘッドホン、モバイル機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- ・ 別のモバイル機器を接続します(29ページを参照)。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースにアクセスすることもできます。support.Bose.com/QCU

それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

その他の対処方法

症状	対処方法
ヘッドホンの電源が入らない	Bluetooth/ 電源ボタンを押します(14ページを参照)。数秒後、起動音が聞こえ、バッテリーの残量を知らせる音声ガイドが流れます。ステータスインジケーターが現在の充電状態に応じて点灯します(38ページを参照)。 ヘッドホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。
ヘッドホンとモバイル機器を接続できない	音声ケーブルを取り外します(33ページを参照)。 モバイル機器のBluetoothメニューを使用して接続します(27ページを参照)。 モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 ヘッドホンのデバイスリストを消去します(30ページを参照)。モバイル機器のBluetoothリストからヘッドホンを削除します(Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(27ページを参照)。 support.Bose.com/QCUにアクセスして、解説ビデオを参照します。 ヘッドホンをリセットします(55ページを参照)。

症状	対処方法
ヘッドホンと macOS を再接続できない	パソコンの <i>Bluetooth</i> メニューを使用してヘッドホンを再接続します。 Bose アプリでヘッドホンを選択します。メイン画面で「ソース」をタップし、「ペアリング済みデバイス」リストを使ってヘッドホンをパソコンに再接続します。 ヘッドホンの <i>Bluetooth</i>/電源ボタンを1回押すと、接続されている機器の名前が聞こえます。すぐにもう一度 <i>Bluetooth</i>/電源ボタンを押すと、ヘッドホンのデバイスリストにある次の機器の名前が聞こえます。パソコンの名前が聞こえるまで、手順を繰り返します。パソコンが接続されるとピープ音が聞こえます。 ヘッドホンがペアリングされている他の機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにします。ヘッドホンを再起動し、パソコンに接続します。
アプリでのセットアップ中にヘッドホンが反応しない	モバイル機器で Bose アプリを閉じてから再度開き、やり直してください。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します (12 ページを参照)。 モバイル機器の設定メニューで、Bose アプリが <i>Bluetooth</i> 接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 モバイル機器の設定メニューで、<i>Bluetooth</i> 機能が有効であることを確認します。 モバイル機器で Bose アプリをアンインストールします。アプリを再インストールします (12 ページを参照)。
Bose アプリでヘッドホンを検出できない	モバイル機器で Bose アプリを閉じてから再度開き、やり直してください。 モバイル機器の設定メニューで、Bose アプリが <i>Bluetooth</i> 接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 ヘッドホンの電源をオンにした状態で、ステータスインジケータが青く点滅するまで、<i>Bluetooth</i>/電源ボタンを長押しします。 ヘッドホンのデバイスリストを消去します (30 ページを参照)。モバイル機器の <i>Bluetooth</i> リストからヘッドホンを削除します (Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (27 ページを参照)。 以前ヘッドホンが接続されていたパソコンで Microsoft Teams が実行されている場合は、Microsoft Teams アプリを終了します。それでも問題が解決しない場合は、そのパソコンで <i>Bluetooth</i> 機能をオフにするか、<i>Bluetooth</i> の通信範囲 (通常は約 9 m) から離れます。 モバイル機器で Bose アプリをアンインストールします。アプリを再インストールします (12 ページを参照)。

症状	対処方法
モバイル機器でBoseアプリが動作しない	お使いのモバイル機器がBoseアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。 モバイル機器でBoseアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(12ページを参照)。
ヘッドホンを充電できない	USB充電ケーブルの両端が端子にしっかりと接続されていることを確認します(35ページを参照)。 別のUSB-Aウォールチャージャー、USBケーブル、または電源コンセントを試してみてください。 ヘッドホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してからもう一度充電してください。
Bluetooth接続が途切れる	モバイル機器の電源をオフにしてから再度オンにし、もう一度接続してみます。 ヘッドホンのデバイスリストを消去します(30ページを参照)。モバイル機器のBluetoothリストからヘッドホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(27ページを参照)。 ヘッドホンをリセットします(55ページを参照)。
ヘッドホンでSpotifyが再生できない	Spotifyを開いているのが1台の接続機器のみであることを確認します。複数の接続機器で同じSpotifyアカウントにログインしている場合は、いずれかの機器でSpotifyからログアウトするか、Spotifyを終了します。
ノイズキャンセリングを調整できない	ヘッドホンの電源をオフにしてから、もう一度オンにします(14ページを参照)。 マルチファンクションボタンを使用している場合は、Boseアプリを使用して、ノイズキャンセリングレベルを調整します。
ヘッドホンを頭に装着しても検知されない	ヘッドホンの電源をオフにします。ヘッドホンを装着してから、もう一度電源をオンにします(14ページを参照)。 右イヤークップが耳を完全に覆っていることを確認してください。 ヘッドホンを装着する前に、右耳を覆っている髪の毛を払い、衣服などを取り除きます。髪の毛や衣服などが挟まっていると、ヘッドホンが頭に装着されていることが検知されない場合があります。

症状	対処方法
ヘッドホンを頭から外しても検知されない	ヘッドホンの電源をオフにします。ヘッドホンを頭から外した状態で、電源を再度オンにし(14ページを参照)、ヘッドホンを装着します。 ヘッドホンを外した後、両方のイヤークップを内側に回転させ、平らになるようにします。ケースに収納してもかまいません。 Bose アプリを使用して、装着検出による自動再生/一時停止機能が有効になっていることを確認します(20ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。
音楽の再生が不意に止まる	ヘッドホンを外してから、もう一度装着します。 Bose アプリを使用して、装着検出による自動再生/一時停止機能を無効にします(20ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。
音が出ない	ヘッドホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 Bluetooth/ 電源ボタンを押して、接続した機器の名前を音声で確認します。正しい機器が接続されていることを確認してください。 モバイル機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 モバイル機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 音声ケーブルで機器に接続している場合は、「音声ケーブルで接続されているソース機器からの音が聞こえない」(52ページ)をご覧ください。 モバイル機器が2台接続されている場合は、最初に他の機器で再生を一時停止します。 モバイル機器を再起動します。 USBケーブル接続された機器から音楽を再生する場合は、機器の Bluetooth メニュー (27ページを参照) または音声ケーブル(33ページを参照)を使用して接続します。ヘッドホンはUSBオーディオに対応していません。 ヘッドホンをリセットします(55ページを参照)。 「ヘッドホンを頭に装着しても検知されない」をご覧ください。

症状

対処方法

音量を調節できない	指がボリュームストリップにしっかり触れていることを確認します。 指が濡れていないことを確認します。 髪が濡れている場合は、髪がボリュームストリップに触れないようにしてください。 手袋を着用している場合は、手袋を外してからボリュームストリップに触れてください。
音質が悪い	ヘッドホンを装着したまま電源をオフにしてから、もう一度オンにします (14 ページを参照)。起動音が聞こえることで、最高の音響性能を実現するように、耳に合わせてオーディオが調整されますので、起動音が聞こえたことを確認してください。 ヘッドホンの電源をオフにしてから、もう一度オンにします (14 ページを参照)。 風の強い環境では、Bose アプリでウィンドブロックが有効なカスタムモードを作成します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。 イヤークップがしっかりとフィットし、耳を快適に覆っていることを確認します。 髪が長い場合や、メガネをかけたり帽子をかぶったりしている場合は、イヤークップの邪魔にならないようにしてください。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します (12 ページを参照)。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 モバイル機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 モバイル機器が 2 台接続されている場合は、2 台目の機器の接続を解除します。 モバイル機器や音楽再生アプリのオーディオ拡張機能をオフにします。 イマーシブオーディオ機能の設定を変更します (23 ページを参照)。 ヘッドホンの接続で正しい Bluetooth プロファイル (Stereo A2DP) が使用されていることを確認します。お使いのモバイル機器の Bluetooth / オーディオ設定メニューで、正しいオーディオプロファイルが選択されていることを確認してください。 モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 ヘッドホンのデバイスリストを消去します (30 ページを参照)。モバイル機器の Bluetooth リストからヘッドホンを削除します (Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (27 ページを参照)。 support.bose.com/QCU にアクセスして、解説ビデオを参照します。 ヘッドホンをリセットします (55 ページを参照)。

症状	対処方法
音声ケーブルで接続されているソース機器からの音が聞こえない	ヘッドホンの電源がオンになっていることを確認します(14ページを参照)。ヘッドホンはパッシブオーディオに対応していないため、音声ケーブルを使用するには電源が必要です。バッテリーが切れている場合は、USBケーブルを使用して外部電源に接続し、ヘッドホンの電源をオンにしてください(34ページを参照)。 付属のBose音声ケーブルを使用していることを確認します。 音声ケーブルの両端が端子にしっかりと接続されていることを確認します(33ページを参照)。 モバイル機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 モバイル機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 ヘッドホンの音量を上げてから、モバイル機器の音量を上げます。 モバイル機器を再起動します。
音声ケーブルで接続されているモバイル機器からの音質が悪い	音声ケーブルの両端が端子にしっかりと接続されていることを確認します(33ページを参照)。 モバイル機器を再起動します。
マイクが音を正常に拾わない	ヘッドホンが正しく装着されていることを確認します。ヘッドホンのイヤークップの内側にあるスクリーン(布製カバー)には、L(左イヤークップ)およびR(右イヤークップ)のマークが付いています。右イヤークップを右耳に、左イヤークップを左耳に合わせます。 マイクが塞がれていない状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。 ヘッドホンのデバイスリストを消去します(30ページを参照)。モバイル機器のBluetoothリストからヘッドホン进行削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(27ページを参照)。もう一度電話をおかけ直してください。 モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、もう一度オンにします。
マルチファンクションボタンでモードを変更できない	Boseアプリを使用して、モードを変更します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

症状	対処方法
ノイズキャンセリング機能の効果が弱い	ヘッドホンの電源をオフにしてから、もう一度オンにします (14 ページを参照)。 モードをチェックします (25 ページを参照)。 イヤークップがしっかりとフィットし、耳を快適に覆っていることを確認します。 髪が長い場合や、メガネをかけたり帽子をかぶったりしている場合は、イヤークップの邪魔にならないようにしてください。 ヘッドホンを頭から外し、再度装着します。 通話中またはモバイル機器の音声コントロールを使用している場合は、Bose アプリを使用して、セルフボイスを下げるかオフにします (21 ページを参照)。 ActiveSense が有効であることを確認します (25 ページを参照)。 ヘッドホンをリセットします (55 ページを参照)。それでも問題が解決しない場合は、ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻します (56 ページを参照)。
通話中に相手の声が聞こえにくい	モードを変更します (26 ページを参照)。
通話中に自分の声が聞こえにくい	Bose アプリを使用してセルフボイスを調整します。このオプションは設定メニューから設定できます。 モードをアウェアモードに変更します (26 ページを参照)。 Bose アプリを使用して、通話中に使用するカスタムモードを作成します。ノイズキャンセリングレベルを変えてみて、自分の声が最も聞き取りやすくなるのはどれかを確認します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。
ヘッドホンが反応しない	ヘッドホンをリセットします (55 ページを参照)。それでも問題が解決しない場合は、ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻します (56 ページを参照)。
音声ガイドの言語が正しくない	Bose アプリを使用して音声ガイドの言語を変更します (12 ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。

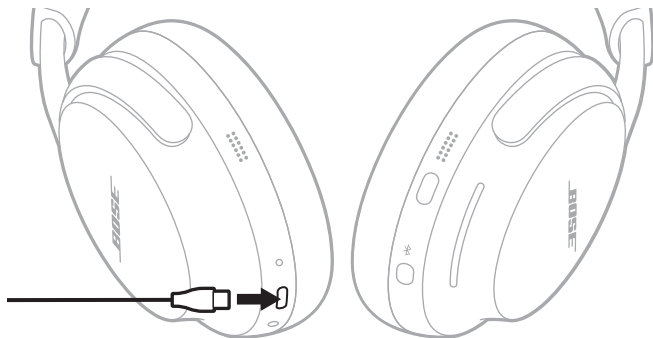
症状	対処方法
着信が通知されない	モバイル機器の Bluetooth メニューを開いて、ヘッドホンが接続されていることを確認します。 モバイル機器がおやすみモードに設定されていないことを確認します。 Bose アプリを使用して音声ガイドを有効にしていることを確認します (12 ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。 モバイル機器の Bluetooth メニューで、ヘッドホンが連絡先にアクセスできるように設定されていることを確認します。
ヘッドホンを Bose Smart Soundbar または Bose Smart Speaker に接続できない	対応している Bose 製品を接続していることを確認します。対応製品のリストについては、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups ヘッドホンの電源がオンの状態で、音声ガイドで「別のデバイスの接続準備が完了しました」と聞こえるか、ステータスインジケーターが青く点滅するまで、Bluetooth / 電源ボタンを長押しします。 ヘッドホンがサウンドバーやスピーカーから 9 m 以内にあることを確認してください。
以前に接続されていた Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker とヘッドホンを再接続できない	ヘッドホンで、「別のデバイスの接続準備が完了しました」と聞こえ、ステータスインジケーターが青く点滅するまで 3 秒間、電源/Bluetooth スイッチを長押しします。Bose アプリを使用して、ヘッドホンに対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups
接続した Bose Smart Soundbar または Bose Smart Speaker からの音が遅れて再生される	Bose アプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します。

ヘッドホンのリセットする

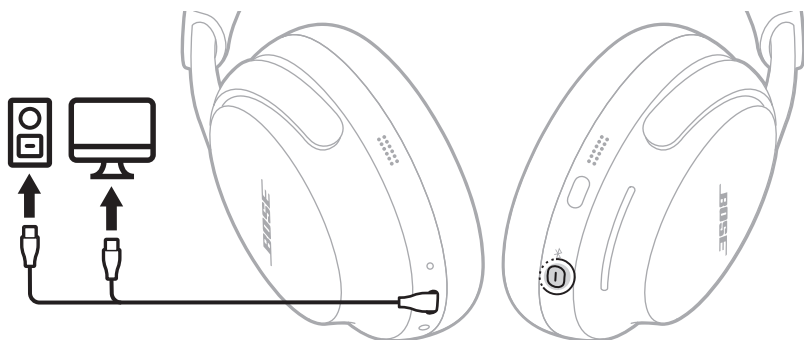
ヘッドホンが反応しない場合は、リセットすることができます。

ヘッドホンのリセットすると、製品のコントロールがリセットされ、ヘッドホンが再起動します。機器の設定は消去されません。

1. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドホンを削除します。
2. USBケーブルの小さい方のプラグを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。



3. **Bluetooth**/電源ボタンを押したまま、USBケーブルのもう一方の端をパソコンやウォールチャージャーなどのUSB-A電源に接続します。



4. USBケーブルをUSB-A電源に接続したら、**Bluetooth**/電源ボタンから指を放します。

リセットが完了すると、ステータスインジケーターが3秒間白く点滅し、現在の充電状態に応じて点灯します (38 ページを参照)。

注: それでも問題が解決できない場合は、[support.Bose.com/QCU](https://support.bose.com/QCU)でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、ヘッドホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてヘッドホンをセットアップするときのように設定することができます。

工場出荷時の設定へのリセットは、ヘッドホンに問題がある場合や、Boseカスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. モバイル機器の *Bluetooth* リストからヘッドホンを削除します。
2. Bose アプリを使用して、Bose アカウントからヘッドホンを削除します。

注: Bose アプリで Bose アカウントからヘッドホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/QCU

3. *Bluetooth*/電源ボタンとマルチファンクションボタンを同時に長押しします。数秒後、ステータスインジケーターが白く2回点滅してから青く点滅します。ステータスインジケーターが再び白く2回点滅するまで、両方のボタンを合計15秒間長押しします。



復元が完了すると、ステータスインジケーターが青く点滅します。これでヘッドホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/QCUでその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

